学校通信



前期終業式

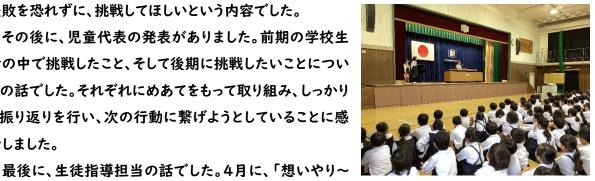


穏やかな、過ごしやすい日が続いています。

本日、令和7年度前期の教育課程を終了いたしました。保護者の皆様には、教育活動に多大 なご協力とご支援をいただき、誠にありがとうございました。

|時間目に、終業式を行いました。はじめに校長先生の話がありました。「やればできる」とい う言葉についての話でした。この言葉は、成功をめざすことではなく、挑戦することに価値があり ます。挑戦すれば、たとえ失敗しても必ず成長に繋がります。だめなことは、何も挑戦しないこと。 失敗を恐れずに、挑戦してほしいという内容でした。

その後に、児童代表の発表がありました。前期の学校生 活の中で挑戦したこと、そして後期に挑戦したいことについ ての話でした。それぞれにめあてをもって取り組み、しっかり と振り返りを行い、次の行動に繋げようとしていることに感 心しました。



姿も心も美しい附属小学校」をめざすことを本年度の目標とするという話がありました。それに ついての振り返りです。あいさつと掃除は素敵な姿が見られました。これから考えてほしいことは、 ものの返し方と登下校の仕方についてです。一輪車を雑に返す人がいても、気付いて直す人が います。登下校の仕方については、繰り返し指導していますが、中には褒められる行動をする人 もいます。ルールやマナーを守り、命を大切にすること、そして周りの人のことを考えた行動する ことについて話をしました。「ふしょうっこ宣言」についても触れ、これまで大事にしてきた附属小 学校の姿と心をこれからも磨いていきましょうと、話は終わりました。

終業式で話を聞きながら、「何事にも挑戦する人になってほしい」「めあてをもって全力を尽く し、振り返りをしっかりとして次に繋げられる人になってほしい」「自分も大切に、周りの人も大切 にできる人になってほしい」と思いながら、話を真剣に聴く子供たちの顔を見ていました。「育て たように子は育つ」という相田みつおさんの言葉を思い出します。子供たちは大人のことをよく 見ています。そのような子に育ってほしければ、まずは自分がそのような行いをすることが一番と 言われます。ちょっと何かに挑戦したい気持ちになりました。

さて、明日からは秋休みです。子供たちは元気に帰っていきました。短い休暇ですが、自分の やりたいことを楽しむ時間を過ごし、心も体も満たして、後期を迎えたいと思います。

(文責 齋藤 昌代)